資料３

国土交通省
関東地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau.

Press Release

令和８年９月３０日
国土交通省関東地方整備局
常総国道事務所
東日本高速道路株式会社関東支社

東関東道(行方 IC～鉾田 IC)が令和 8 年 11 月 22 日に開通

～開通式典・セレモニーを開催します～

国土交通省関東地方整備局及び東日本高速道路株式会社関東支社が整備を進めてまいりました、Ｅ５１東関東自動車道水戸線（以下「東関東道」）行方（なめがた）インターチェンジ（以下「ＩＣ」）～鉾田（ほこた）ＩＣが令和８年１１月２２日（日）１５時に開通しますのでお知らせします。

また、開通に先立ち、開通式典・セレモニーを開催します。

引き続き、潮来（いたこ）ＩＣ～行方ＩＣについても、安全を最優先に整備を進めてまいります。

開通日時	：令和８年１１月２２日（日）　１５時００分	
開通区間	：東関東道（行方ＩＣ～鉾田ＩＣ）	（別紙１参照）
開通式典会場	：行方市立北浦小学校（茨城県行方市内宿 358-2）	（別紙３参照）
セレモニー会場	：東関東道行方ＩＣ内（茨城県行方市次木（なみき）地先）（別紙３参照）	

※天候等により式典内容、開通時間が変更となる場合があります。

※開通式典及びセレモニーは、会場の都合により、一般の方の来場はできませんので、あらかじめご了承ください。

別紙１

■開通区間の概要

～東関東道　開通区間の概要～

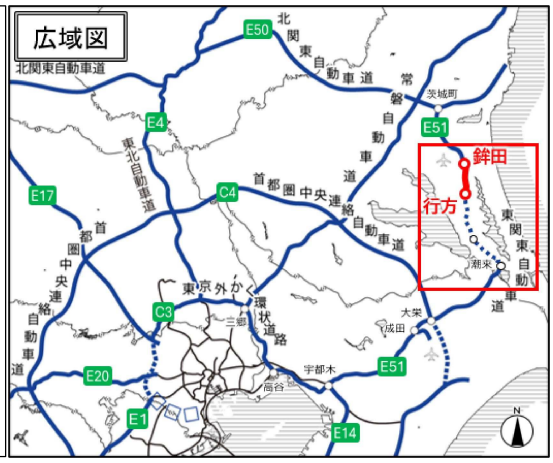
○開通区間の概要

・　延　　長　：　7.9km

・　車 線 数　：　暫定２車線

・　区　　間　：　行方IC（行方市両宿）～
鉾田IC（鉾田市秋山）

・　開 通 IC　：　行方IC









～行方ＩＣと主要ＩＣ間の料金表～

〇ＥＴＣ通常料金（行方ＩＣから）

（料金：円）

道路名	IC名	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車
東関東道	鉾田	340	380	420	520	750
	茨城空港北	530	620	710	910	1,410
北関東道	茨城町東	820	980	1,140	1,510	2,400
	茨城町西	760	910	1,060	1,400	2,230
	友部	1,010	1,230	1,440	1,920	3,080
	桜川筑西	1,400	1,710	2,020	2,720	4,420
	宇都宮上三川	1,890	2,320	2,750	3,720	6,090
常磐道	水戸	1,030	1,240	1,460	1,950	3,130
	三郷	2,550	3,150	3,750	5,090	8,370
東水戸道路	水戸南	890	1,070	1,250	1,660	2,660
	ひたちなか	1,200	1,440	1,670	2,290	3,660

〇ＥＴＣ時間帯割引

今回開通する「行方ＩＣ～鉾田ＩＣ」には、以下のＥＴＣ時間帯割引が適用されます。

割引名称	主な内容
深夜割引	０時～４時の間に入口または出口となる料金所を走行。３０%割引。
休日割引	土日・祝日に入口または出口となる料金所を走行。３０%割引。 ※軽自動車等及び普通車のみが対象です
平日朝夕割引	平日の朝（６～９時）または夕方（１７～２０時）に入口または出口となる料金所を走行。 割引対象となる走行の回数（５～９回または１０回以上）に応じて、３０%または５０%を還元。 ※ＥＴＣマイレージサービスへの登録が必要です

※ＥＴＣ時間帯割引やドラ割など、高速道路料金の割引の詳細については、ＮＥＸＣＯ東日本のホームページ「ドラぷら（https://www.driveplaza.com/）」をご確認ください。

別紙２

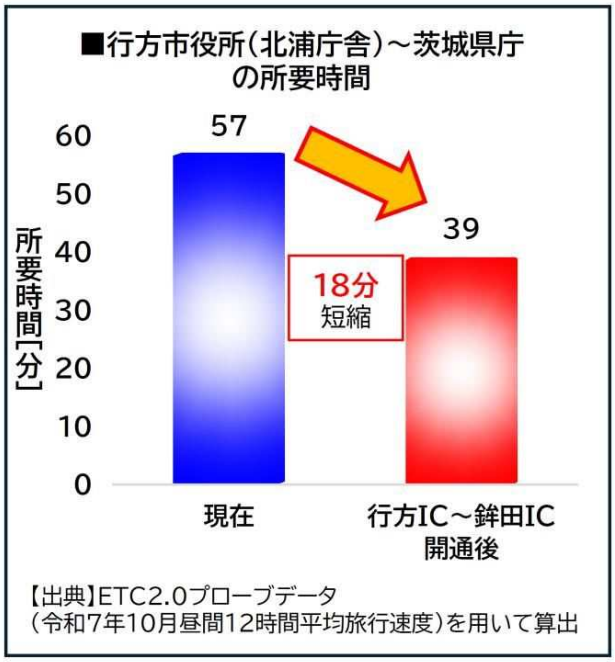
■期待される主な開通効果

～アクセス性の向上による周辺都市間の連携強化に寄与～

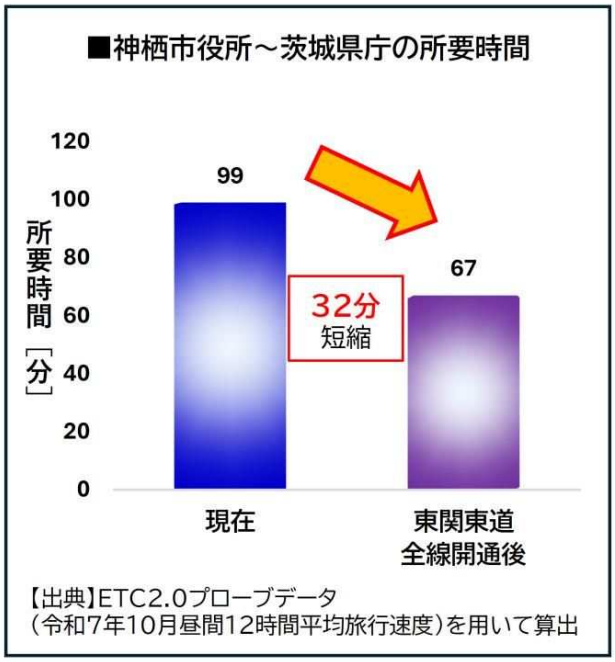
・行方 IC～鉾田 IC 間の開通により、行方市（行方市役所（北浦庁舎））から茨城県の中心である水戸市（茨城県庁）までの所要時間が約 18 分短縮するなど、アクセス性の向上が期待されます。
・今後、東関東道の開通により、神栖市（神栖市役所）から水戸市（茨城県庁）までの所要時間が約 32 分短縮され、更なるアクセス性の向上が期待されます。
・今後、東関東道の開通により、茨城県鹿行地域の交通利便性が向上し、周辺都市間の連携強化が図られます。

■東関東道開通時の
茨城県鹿行地域～茨城県庁の利用ルート





【出典】ETC2.0プローブデータ
（令和7年10月昼間12時間平均旅行速度）を用いて算出



【出典】ETC2.0プローブデータ
（令和7年10月昼間12時間平均旅行速度）を用いて算出

別紙２

■期待される主な開通効果

～茨城県鹿行（ろっこう）地域における広域観光の活性化～

・茨城県の観光入込客数は約６割が県外からの観光客です。県外からの観光客数は増加傾向にありますが、千葉県、埼玉県、東京都からの観光客が全体の約６割を占めています。
・行方 IC～鉾田 IC の開通により、北関東・東北方面から茨城県鹿行地域へのアクセス性が向上し、広域的な観光需要増加が期待されます。
・今後、東関東道の開通により、他の高速道路とネットワーク化が図られ、茨城県鹿行地域周辺の観光資源へのアクセス性が向上し、周遊機会の増加が期待されます。

■茨城県鹿行地域周辺の主要な観光地



■茨城県の観光入込客数の推移

県外からの観光客は約6割
コロナ禍から回復し、増加傾向



【出典】R7観光客動態調査結果（茨城県）

■観光バス事業者の声（栃木県）

茨城県鹿行地域は高速道路が繋がっていないため、宇都宮からの周遊ツアーが組みにくい。東関東道の開通により、茨城県鹿行地域への所要時間が短縮するため、地域内の観光地を周遊する新たなツアーの検討が期待できる。

【出典】観光事業者アンケート調査結果（R8.6）

別紙２

■期待される主な開通効果

～地域の安全・安心の確保（災害時の緊急輸送路の確保）～

・茨城県鹿行地域は、霞ヶ浦・北浦・利根川水系の低平な水郷地帯と鹿島灘沿岸を併せ持つため、洪水・津波の水害リスクを有する地域です。
・今後、東関東道の開通により、茨城県鹿行地域が被災した場合における水戸方面からの救援ルートの強化、災害対策本部（茨城県庁）や防災拠点（重要港湾、空港、災害拠点病院等）を接続する緊急輸送道路ネットワークの強化が期待されます。

■東関東道開通時の水戸方面から茨城県鹿行地域への救援ルート　※茨城県庁に災害対策本部が設置されたと仮定



※1.茨城県緊急輸送道路ネットワーク計画図（令和7年3月一部改定）において、防災拠点区分がAランク（特に重要な防災拠点（県庁、重要港湾、空港、災害拠点病院等））の施設を図示
※2.東関東道は第1次緊急輸送道路（広域、地域間の緊急輸送を担う交通軸、交通軸と防災拠点（Aランク）を連絡する道路、または防災拠点（Aランク）を相互に連絡する道路）に指定

東関東道の整備により、茨城県鹿行地域が被災した場合の救援ルートが確保

【出典】茨城県緊急輸送道路ネットワーク計画図（令和7年3月一部改定）、重ねるハザードマップを基に作成

■自治体の声（茨城県）

洪水等の大規模災害時発生時には、茨城県鹿行地域においても甚大な被害が想定。このため、被害を受けていない地域からの応援部隊や支援物資を円滑に受け入れるため、東関東道をはじめとする広域道路ネットワークの整備促進が重要。

【出典】関係機関ヒアリング調査結果（R8.6）

別紙３

東関東道（行方ＩＣ～鉾田ＩＣ）

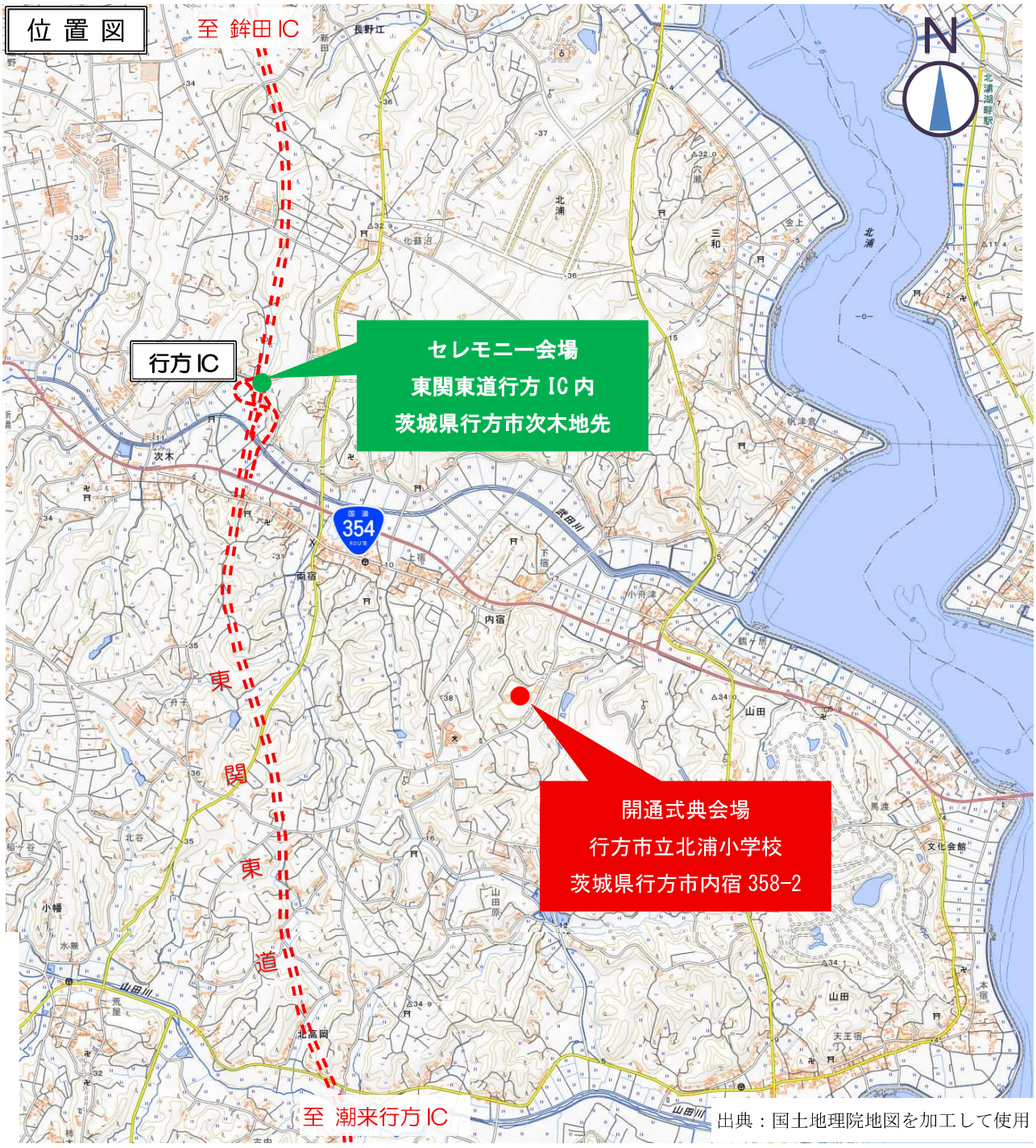
開通式典・セレモニー会場案内図

・主　　催：国土交通省関東地方整備局、東日本高速道路（株）関東支社、
　　茨城県、行方市、鉾田市

・日　　時：令和８年１１月２２日（日）１０時～（受付：９時～）

・開通式典会場：行方市立北浦小学校（茨城県行方市内宿 358-2）

・セレモニー会場：東関東道行方ＩＣ内（茨城県行方市次木地先）



出典：国土地理院地図を加工して使用